

# 地域づくり

## ～今、地域について考える～

町は、「人と地域が支えあうまち 金ヶ崎～連携と協働のもと、今もこれからも住みたい町、住んで良かったといえる町の実現～」を将来像とし、人口減少を最重要課題と位置付け、人口減少の抑制とともに、人口減少に対応できるまちづくり・地域づくりを進めていきます。



地区民による検討会

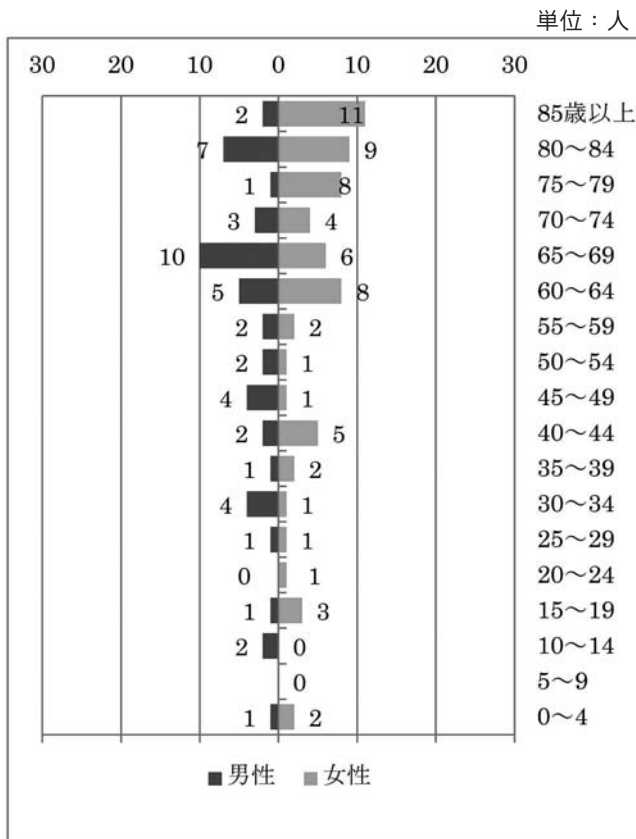


地域の伝統芸能



地域の若い世代

### ○町内のある地区の状況



### あなたの地区はどうですか？

- ◎左のグラフ地区の現状はどうでしょう？
- 高齢化率約 54.0%
- 85歳以上の高齢者1人を支える生産年齢人口は約3.6人、75歳以上の高齢者1人を支える生産年齢人口1.2人
- ◎地区活動に対する人数は？
- 地区役員 10人
- 地区のまつり 20人
- 草刈り・堰はらい 10人
- スポーツ大会 20人

### 「5年後10年後の姿を想像できますか？」

より早い時期から、持続可能な地域のあり方を考えることが必要です。人口減少社会を迎えることは避けられない事実です。「今もこれからも住みたい町、住んで良かったといえる町」を目指し、1人ひとりがまちづくりの主角として地域について考えていきましょう。

### 地域づくりの3つの要素

地域づくりについて、明治大学の小田切徳美教授は「地域づくりの三つの要素」として次のとおり解説しています。

#### 1 「暮らしのものさし」をつくる地域づくり

その地域特有の文化、コミュニティ、自然風土、生き方と哲学の存在と魅力を子どもたちに伝え、自分たちが拠り所としてきた価値観の掘り下げ、次の世代のための仕事の場と生きる場所の準備を行うこと

#### 2 「暮らしの仕組み」をつくる地域づくり

地域性や時代に適合した生活相互扶助、農業生産補完、地域資源の維持管理自治会等を目的とした地縁型コミュニティや、それを補完するテーマ型（目的型）コミュニティを創造すること。学校や公民館、医療機関、公共交通等の生活機能の維持や補完する仕組みを構築すること

#### 3 「カネとその循環」をつくる地域づくり

地域が生み出すカネが都市部に流出することなく、地域資源を活用し地域内で再投資できる仕組みや、外貨を獲得する仕組みを作ること

### 地域に予想される課題

- 1 人口減少による支える側の負担増加
  - 多くの行政区で人口減少が進む中、現状の地域の仕組み、行政等による各種団体が維持された場合、今後の担い手の負担が増加する可能性があります。
- 2 支えあい機能の限界
  - 高齢化が進む一方で、50歳代以下の人口が急激に減少している行政区が多いことから、隣近所や集落での共助機能が限界を迎えることが予想されます。
- 3 社会保障システム、公共サービスの限界
  - 日本全体が高齢化、人口減少を迎えることで、現状の公共サービス、公共インフラの維持が困難になり、個人や地域自らが行うことが増加する可能性があります。
- 4 負担の増加により加速する担い手の不在
  - 地域における支えあい機能の低下や、公共サービスの縮小により、地域を支える次世代の担い手の負担が増加する可能性が高く、今後負担だけが増えた場合、都市部や近隣市への人口流出につながる可能性があります。

### 今後の地域づくり

- 1 行財政の将来予測の実施
  - 今後加速度的に人口減少が進むことが予想される中、これまでの人口維持・拡大を前提とした地域づくりから人口減少後も持続可能な地域づくりを目指します。
- 2 地域での負担軽減につながる仕組みづくりの検討
  - 役場から依頼している各種団体の委員や補助金、各種会議等について、現在の課題等を整理し、負担の軽減について検討を進めます。
- 3 補完しあえる仕組みづくりの検討
  - 人口減少や高齢化により現在の行政区内で対応することが難しい地域課題について、他の行政区との助け合いや各種団体、企業等との連携・協働により補完しあえる仕組みづくりについて検討を進めます。
- 4 既存団体の強化や再編、若者・女性等の多様な主体の育成
  - 地域づくりの担い手として自治会の他にも多様な世代、団体の参加が重要であり、特に若者や女性が活躍できる環境整備を進めます。
- 5 ひとづくりを進めるための生涯教育の役割の検討
  - 町の地域づくりは生涯教育と密接な関係の中で進めてきました。子どもから高齢者まで生涯にわたって学習し、住み慣れた地域で生活し続けるために必要な生涯教育の役割や学習環境の整備について検討を進めます。
- 6 生活圏や各種団体と地域との関係性の変化
  - 従来から行ってきた生活圏の行事や各種団体の活動が、高齢化や人口減少、社会的課題の多様化などから、その行事や役割・機能がニーズに合致していない状況になっている可能性があります。

問 中央生涯教育センター地域づくり推進室(☎44・3123)

